



寄居高校最後の卒業式 47年の伝統は、寄居城北高校へ



寄居高校としての最後の卒業式が3月10日に行われました。141人の卒業生は、寄居城北高校の1年生や多くの関係者に見送られ、それぞれの道へと旅立ちました。

昭和37年に開校した同校は、川本高校との統合により、昨年4月に寄居城北高校が誕生。47年間で卒業生1万4,023人を送り出した同校の伝統は、寄居城北高校へと受け継がれました。

また、式の後には、同窓会の寄附により建立された校歌碑の除幕式も行われ、多くの関係者や同窓生が出席。最後の校歌斉唱が行われ、「山紫に晴れ渡る～」の歌詞のとおり、3月の晴れた空に響いていました。



大盛況! 生涯学習まつり開催

3月7日と8日の2日間、中央公民館で「寄居町生涯学習まつり」が開催されました。当日は7つの地域公民館をはじめ、100団体、約2,000人による作品の展示やステージでの発表が行われました。延べ来場者数は2日間で3,500人を超え、会場は例年同様、大いにぎわいました。

来場者からは、「熟練の技が感じられる展示作品には大変感心しました。また、元気あふれるステージ発表をみてパワーをもらいました」との声が多数聞かれました。



希望を胸に! 小・中学校で卒業式

3月14日に中学校で、24日に小学校で卒業式が行われました。それぞれの学校に別れを告げ、新しい目標に向かっての一歩を踏み出しました。卒業生のみなさん、新しい出会いを大切にし、大きく羽ばたいてください。



寄居中学校



城南中学校



男衾中学校

